

(別紙3)

環政起第1164号-1

令和5年10月16日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター

公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団

理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆 司

令和4年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」

指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(2年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。

令和4年度は、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。また、各種観光キャンペーンを活用した入館料の割引のほか、米子市の魅力を活かし、ダイヤモンド大山に呼応した開館を行うなど、創意工夫を凝らし、積極的に施設の利用促進を図った。

環境学習・普及啓発活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、園児・児童の環境学習のほか、各団体の研修・視察なども多く受入れ、対応を行った。併せて、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。

施設管理については、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、前年度同様、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。

総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

豊富な知識を持った指導員により、初心者から高度なレベルの様々な来館者へ丁寧な説明及び解説がされている。

自然観察会、子どもラムサールクラブ、ジュニアレンジャークラブ、手作り自然教室、エコクラブなど約100を超える観察会やイベントを行っていて、多くの参加者に自然の素晴らしさや、鳥類保全の普及に役立っている。

こうした地道な活動が将来の自然保護の意識を高めるための基礎になっている。

総じて、環境教育を通して、地域社会への貢献を実現している。

【今後の業務改善方策等の特記事項】 ※評価C及びDがないため記載なし。

(別紙2)

令和4年度下期「米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表

〔令和5年8月〕

施設名	米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1) 野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2) 野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3) 野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4) 前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認: 効率的な人員配置により業務を行っている。
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	A	資料等確認: 学会への参加、講師派遣等により資質向上に努めている。
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等確認: ホームページや水鳥公園だより、観光キャンペーンの活用など、積極的な情報発信を行い利用促進に努めている。
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等確認
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等確認: 利用者からの意見に適切に対応している。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等確認
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等確認: 基準で定められた業務のほか、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	資料等で確認

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等確認：施設の機能維持のため、適切な営繕を実施している。
4 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等確認：運営上得た個人情報には施錠できるロッカーで保管している。
5 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・聴取等により確認：市と情報共有し、方針の具体化に努めている。
II サービスの質の評価（20点）			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。 また、アンケートに記載された意見に基づき、速やかに改善をおこなっている。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査により確認
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等確認：コロナ対策を行いつつ慎重にイベントを実施し、来館者数の大幅減少を防いだ。
4 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等確認：施設の特徴を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。
III サービスの安定性の評価（15点）			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等確認
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。</p> <p>令和4年度は、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。また、各種観光キャンペーンを活用した入館料の割引のほか、米子市の魅力を活かし、ダイヤモンド大山に呼応した開館を行うなど、創意工夫を凝らし、積極的に施設の利用促進を図った。</p> <p>環境学習・普及啓発活動として、野鳥の専門家である指導員が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、園児・児童の環境学習のほか、各団体の研修・視察なども多く受入れ、対応を行った。併せて、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。</p> <p>施設管理については、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、前年度同様、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p>合計点 (72) 点 / (90) 点 × 100 = (80) 点 平均点 (4.0) 点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	前年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	307	293	14、104.8 (%)	
施設利用者数	17,925	16,261	1,664、110.2 (%)	
施設稼働率	84.1	80.3	3.8、104.7 (%)	
事業開催数	88	94	-6、93.6 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	前年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	1,557,190	1,244,930	312,260、125.1 (%)	有料入館者数が前年度比799人増
指定管理料	50,415,000	49,092,000	1,323,000、102.7 (%)	
自主事業収入	0	0	0、0 (%)	
その他	929,217	266,340	662,877、348.9 (%)	929,217円 (内訳) 69,000円 イベント収入 581,182円 米子市公の施設の管理運営安定事業費補助金 29,480円 We Love 山陰 8,580円 ウェルカニ得々 19円 利息収入 240,956円 財団繰入金 (増減理由) 米子市公の施設の管理運営安定事業費補助金の受入れのため
合計	52,901,407	50,603,270	2,298,137、104.5 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	前年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	39,547,338	39,391,100	156,238、100.4 (%)	
旅費交通費	25,238	33,868	-8,630、74.5 (%)	学生アルバイト(解説・イベント)人員減による交通費の支給減
通信運搬費	187,504	175,830	11,674、106.6 (%)	

消耗品費	952,363	714,229	238,134、133.3 (%)	植栽管理用集塵機の購入・展望ホール来館者用椅子の購入ほか
修繕費	369,574	617,180	-247,606、59.9 (%)	前年度は保護区内管理道を広範囲に整地を行ったため。
印刷製本費	78,248	56,430	21,818、138.7 (%)	水鳥公園だより発送用封筒の印刷代
燃料費	294,851	335,084	-40,233、88.0 (%)	
光熱水費	3,279,296	2,177,406	1,101,890、150.6 (%)	電気代高騰
賃借料	42,950	29,150	13,800、147.3 (%)	こども自由研究発表会場費
租税公課	2,470,700	2,383,100	87,600、103.7 (%)	
委託費	5,222,865	4,184,064	1,038,801、124.8 (%)	水系生態循環回復システム機器点検整備費用が前年度比829千円増
負担金	0	0	0、0.0 (%)	
報酬費	429,000	429,000	0、0.0 (%)	
支払手数料	1,480	1,480	0、0.0 (%)	
合計	52,901,407	50,527,921	2,373,486、104.7 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和4年4月～令和5年3月〕 A	前年度〔令和3年4月～令和4年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)	備考
①事業収支	0	75,349	-75,349、0.0 (%)	
②利用料金比率	2.9%	2.5%	0.4、116.0 (%)	
③人件費比率	74.8%	78.0%	-3.2、95.9 (%)	
④外部委託費比率	9.9%	8.3%	1.6、119.3 (%)	
⑤利用者当たり管理コスト	2,951	3,107	-156、95.0 (%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	2,812	3,019	-207、93.1 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていかどうかを確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入×100)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出×100)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出×100)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	備考
①自己資本比率	99.0	99.2	98.9	98.8	98.8	
②流動比率	411.0	460.3	540.1	539.3	529.7	
③固定長期適合率	96.0	96.2	95.8	95.7	95.6	
④総資産経常利益率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。) 各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多く、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

※補足資料1~4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
資産合計		資本金	600
2,000		利益余剰金	200
		純資産合計	800
		負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

利用者アンケートにおけるご意見に対する対応
(1) (ご意見) 玄関の木製スロープの踏み板が外れかけの部分がある。また、支柱もぐらついている箇所がある。 危険であるため対応してほしい。
(対応) 施設管理員が応急処置としてスロープの踏み板と支柱に補強材を設置した。
(2) (ご意見) トイレに温水便座があると嬉しい。
(対応) 費用がかかることなので検討することとした。

6 利用者アンケートの結果

○ 子供にもやさしく接して頂きありがとうございました。鳥・昆虫など生き物好きの子供がとてうれしそうです。とても良い体験でした。2回目でしたが、いつもとても気持ちよくすごせます。
○ はじめて来ました。子どもに自然を感じてほしいなと思って来ました。とてもたのしかったです。ありがとうございました。またきます。
○ 孫と久しぶりに来ました。楽しかったです。ありがとう。
○ いろいろなクイズラリー、投票などのイベントが良いと思いました。これからもいろいろな活動をしてくださるといいと思います。
○ ホームページを充実させて下さい。
○ 水鳥の生態など詳しく教えていただき勉強になりました。楽しかったです。

- 鳥の名前と姿を知ることができました。ありがとうございます。
- 楽しかったです。すごいと思いました。
- 3年ぶりに来てとても良い施設と思い、天候も良く、職員の方もやさしくていいので、ありがとうございました。おもしろく楽しく見学できました。また来たいと思いました。
- いろいろな鳥がいて、大きな鳥や小さな鳥がいるんだなと思いました。
- めずらしい鳥がいてよかった。
- 夏に来た時、コハクチョウを見にまたおいでねと言われたので観に来ました。早起きしたかいがあつて、たくさん見ることできました。
- 10回以上来ていますが、満足です。
- 珍しいツクシガモ等をご説明いただき、とても良い時間を過ごさせて頂きました。